

# 対象事業 NO. 3

## パッケージ概要

# 四万十川流域を中心とした住民の定住を支援する道路整備



### 地域の状況

四万十川流域の道路は、川沿いの集落を結びながら河川と並行しているため、曲がりくねって狭い道路が多い。地域の主要な産業は1次産業であり、山間部の曲がりくねった道路は円滑な流通に支障となっています。観光客、レジャー客が多く、地区外からの車両の流入があるため、運転操作を誤った事故も多い。



四万十川流域を中心とした自然を利用した観光産業が盛んです。

### 整備前の課題(県民のニーズ)

四万十川観光、地域内産品の流通拡大、地域資源の有効活用を支援する道路整備

### パッケージの設定

移動時間の短縮により『ゆとり時間』を創出することで、地域の課題やニーズの解決を図る。(ゆとり時間とは、移動時間の短縮により県民が利用できる有効時間)

《整備30路線》

《指標の考え方》 道路を利用する人が得られる「ゆとり時間」

$$\text{ゆとり時間} = (\text{短縮時間} \times \text{交通量} \times \text{乗車人数}) / \text{恩恵人口}$$

短縮時間：整備による移動時間の短縮

交通量：整備区間の自動車交通量(H11センサス)

### 取り組みと成果



#### 代表整備路線

県道興津窪川線

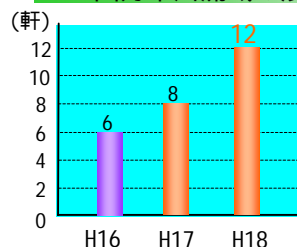
県道十和吉野線

県道秋丸佐賀線

町道上井田線(津野町)

#### 整備効果

四万十川流域の農家民宿件数



地域資源を活かした交流活動が多くなっています!

#### 農家民宿とは?

農家民宿とは経営的には農家の副業として位置づけられ、農山漁村のさまざまな資源を活用した簡易な宿泊所のことを指します。農家が経営する新しい農業分野の一つとして、近年注目されています。



#### ゆとり時間算出

一人当たり 年間15時間のゆとり時間を創出!!



費用便益比 (B/C) <sup>1</sup>

3.79 > 1.0

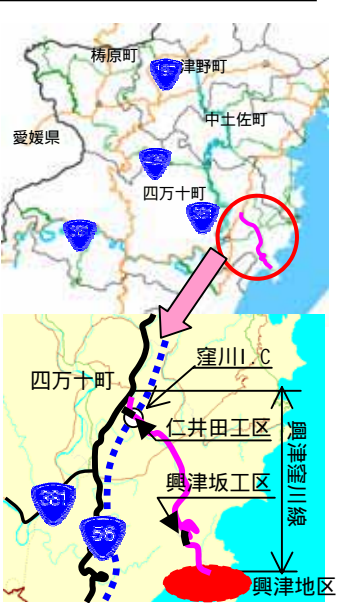
<sup>1</sup> 費用便益比とは、投資費用(整備費用)に対しての効果(時間短縮、走行経費削減)を表したものであり、1.0を超えると費用以上の効果があるものと考えられる。



# 対象事業 NO. 3

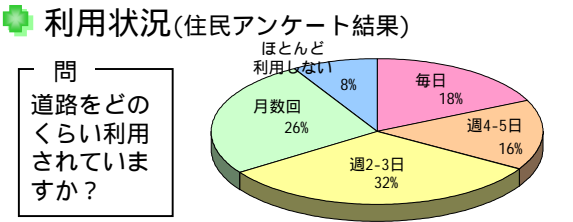
## 四万十川流域を中心とした住民の定住を支援する道路整備 《県道興津窪川線》

### 事業位置、整備概要



**路線の特徴**  
本路線は国道56号、窪川I.C (建設中)と四万十町興津地区を結ぶ路線です。興津地区は日本の水浴上88選に認定された『興津小室の浜』や磯釣りスポットなど観光地としても有名です。

**整備の目的**  
高知自動車道窪川I.C (建設中)へのアクセスや、急峻部の道路改良を目的に整備を行い、興津地区への観光客や地元住民のアクセス向上を図りました。

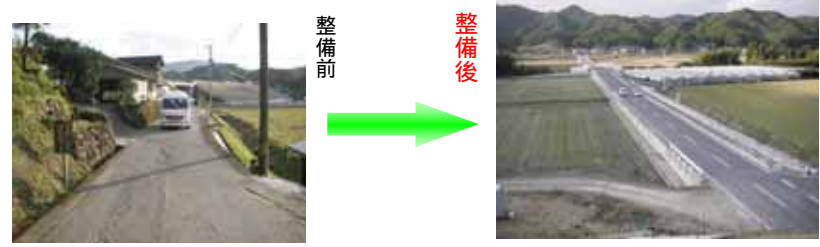


**住民の34%の方がほぼ毎日利用**

**整備箇所**

仁井田工区	整備延長	L= 300m
興津坂工区	整備延長	L=2300m

### 整備写真(仁井田工区)



**【1車線 2車線道路(バイパス)へ改良】**  
2車線(バイパス)整備により、大幅に走行性が改善され、国道56号や、現在建設中の窪川I.Cへのアクセス性が向上しました。

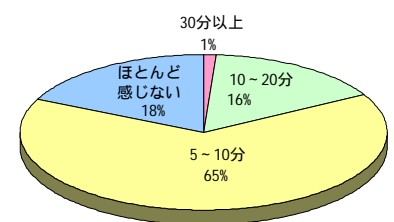
### 整備効果

**興津地区から国道56号までの通行時間短縮**



地元住民やレジャー客のアクセス性が大幅に向上しました。

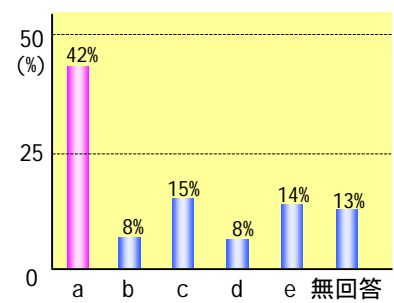
問 道路が整備されたことによって通行時間は一日合わせてどれくらい短くなりましたか？



地域住民の**82%**の方が通過時間の短縮を実感(平均実感短縮時間 7.5分/日)

### 住民アンケート結果

問 道路が整備されたことによってお住まいの地域はどのように変わりましたか？



- (a)自然(山、川、海)へ行きやすくなった
- (b)地場産品の流通が増えた
- (c)観光客が増えた(キャンプ場、温泉など)
- (d)地域産業を活かした交流が増えた
- (e)その他

#### その他回答事例

- ・仕事の効率が良くなった。
- ・車のすれ違いが安全に出来るようになった。
- ・県内外の皆様には歓迎だが自然治安にも関

**道路整備により、観光地へのアクセスが大きく向上しました!**



# 対象事業 NO. 3

## 四万十川流域を中心とした住民の定住を支援する道路整備 《県道十和吉野線・秋丸佐賀線》

### 整備効果事例

#### 県道十和吉野線

##### 路線の特徴

四万十町十川地区は、四万十川観光としいたけ栽培で知られています。当路線は県境連絡道路であると共に、十川地区の地域産業を支え、交流人口増を図る上でも重要な路線です。

##### 整備箇所

整備延長  
古城工区 L=200m

整備写真(古城工区)

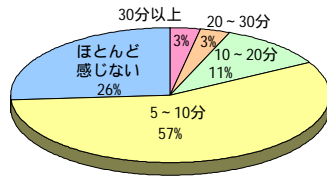


整備後

##### 整備効果

###### 住民アンケート結果

問  
道路が整備されたことによって通行時間は一日合わせてどれくらい短くなりましたか？



地域住民の**74%**の方が道路整備による移動時間の短縮を実感!!

###### 住民意見

- ・ 通行時バックの回数が少なくなり安全面で良くなりました。
- ・ 大型トラックの運行が非常に良くなりました。
- ・ 通学生とすれ違う際怖いことがあります。

道幅が広がったことで、安全な道路となりました。しかし、未整備区間の走行には不安が残るため、今後も整備が必要です！

#### 県道秋丸佐賀線

##### 路線の特徴

国道56号と国道381号を結ぶ路線ですが、整備箇所沿線には小学校があり、通学路として安全な道路整備が必要です。

##### 整備箇所

整備延長  
野地～家地川工区 L=1100m

整備写真(野地～家地川工区)

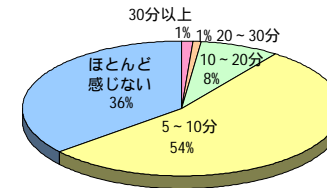


整備後

##### 整備効果

###### 住民アンケート結果

問  
道路が整備されたことによって通行時間は一日合わせてどれくらい短くなりましたか？



地域住民の**64%**の方が道路整備による移動時間の短縮を実感!!

###### 住民意見

- ・ 小学生の通学に対する安全性が向上したと思います。
- ・ 仕事の効率が良くなりました。
- ・ 通学路での車に対する表示が少なすぎると思う。



# 対象事業 NO. 3

## 整備効果事例 《町道上井田線・住民アンケート結果》

### 町道上井田線

#### 整備箇所



整備延長  
上井田工区 L= 400m

#### 整備写真（上井田工区）



車同士の行違いが出来ず、緊急車両等の通行時には障害となっています。

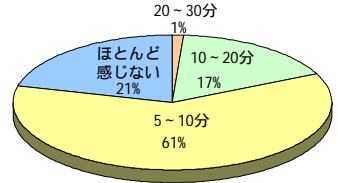


十分な道幅を確保し、住民の生活や緊急時の通行にも安心できる道路となりました。

#### 整備効果

##### 住民アンケート結果

問 道路が整備されたことによって通行時間は一日合わせてどれくらい短くなりましたか？



地域住民の79%の方が道路整備による移動時間の短縮を実感!!

##### 住民意見

- ・ 部落の用事ごとが車で自由に行き通い出来るようになりました。
- ・ 便利になった。地域が明るくなりました。
- ・ 道路がきれいになって良かったです。以前は対向車が来ると困りましたが、今は道幅も広くなり安心して運転できるようになりました。

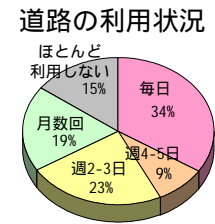
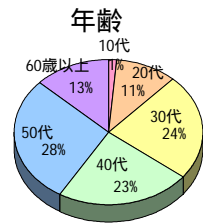
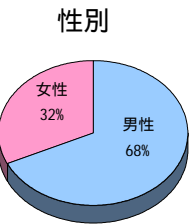
### 住民アンケート結果（四万十地区）

#### 調査概要

配布 600通 代表路線沿線住民  
 ・ 県道興津窪川線  
 ・ 県道十和吉野線  
 ・ 県道秋丸佐賀線  
 ・ 町道上井田線(津野町)

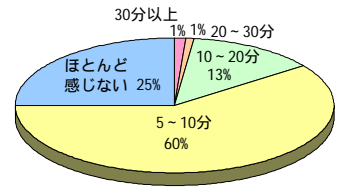
回答数 476通 回収率79%

#### 基本属性



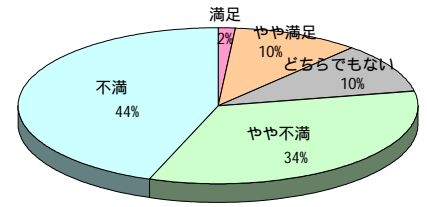
#### 効果

問 道路が整備されたことによって通行時間は一日合わせてどれくらい短くなりましたか？



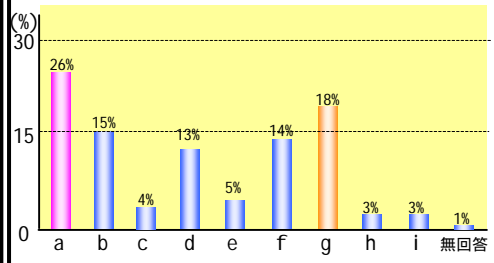
地域住民の75%の方が、通行時間の短縮を実感!

#### 現在の道路状況について



地域住民の78%の方が現在の道路状況に不満を持っています!

#### 今後改善してほしい点



山間部では、道幅の狭い道路が多く、台風シーズンには土砂崩れなどの災害も多数発生しています。多くの住民・観光客の方が安心して通ることのできる道路の整備を行う必要があります!